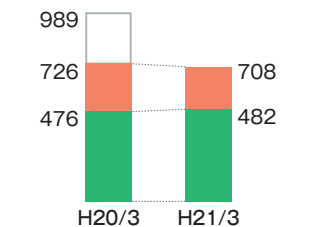


## 第3四半期の概況をお知らせします。

### 引き続きシステム・ディストリビューション分野が伸長しました。

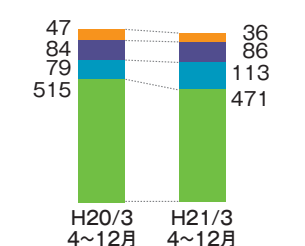
積極的にビジネスパートナーの新規開拓・取扱量の増大を図った結果、前年同期比で44.1%の売上増となり、グループの売上に貢献しました。情報ソリューション分野は、ハードウェア価格の下落に加え、お客様企業のIT投資の手控え傾向が強まったことなどから、前年同期比で8.5%の売上減となりました。ITサプライ分野は、お客様企業の経費削減意識の高まりから、オフィス文具用品が伸び悩んだものの、プリンターサプライを中心に堅調に推移し、前年同期比で2.0%の売上増となりました。製品開発製造分野は、OEM先に供給しているプリンターの販売が伸び悩み、前年同期比で22.0%の売上減となりました。

売上高 (単位:億円)



■ 上半期  
■ 第3四半期  
□ 通期

事業分野別売上高 (単位:億円)



■ 情報ソリューション  
■ システム・ディストリビューション  
■ ITサプライ  
■ 製品開発製造

POSTCARD

## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当グループの現況や事業展開をより深くご理解いただきたく、株主通信を今年度から年4回の発行とさせていただきます。今回は、第3四半期決算と事業概況についてご報告いたします。

世界的な景気の減速や急激な円高が企業業績に影響を及ぼしており、一層の景気の下振れ懸念が強まっています。お客様のIT投資についても、投資意欲が慎重化し、選別化が進むなど、情報サービス産業を取り巻くビジネス環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、**第3四半期(10-12月)の売上高は225億91百万円(前年同期比9.7%減)、経常利益は6億97百万円(前年同期比29.4%減)**となりました。

今後さらに案件規模の縮小等も予測され、第3四半期の業績進捗状況も踏まえて、誠に遺憾ながら通期業績予想について、平成21年1月29日に右記の通り修正することを発表いたしました。先行きが不透明な中、今後も引き続き厳しい状況が続くものと予想されますが、お客様の売上増加や経費削減につながる即効性のあるご提案を着実に推進し、お客様の経営課題やビジネス環境の変化に即したビジネスを進めてまいります。併せて、社内体

ITの可能性を、経営の可能性に。



制としてシェアードサービス化をさらに推進し、グループベースでの販売費および一般管理費などのコスト削減に努めることにより、収益確保を図ってまいります。

また、平成21年1月に発表したグループ事業再編など、来期を見据えた施策を推進し、引き続き変革を進めてまいります。

株主の皆様のご期待にお応えできるよう、今後とも努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。



平成21年2月  
JBCCホールディングス株式会社  
代表取締役社長 石黒 和義

### 通期業績予想修正について

	修正後業績予想	前回*予想比較
連結売上高	930億円	△80億円
連結経常利益	25億円	△11億円
連結当期純利益	10億30百万円	△7億50百万円

\*平成20年4月30日公表

※配当の予想は、平成20年4月30日に公表しました1株あたり30円(通期)から変更いたしません。

※自己株式の取得・消却についても、有効な利益還元のひとつと考えており、平成21年1月29日開催の取締役会において、100万株の自己株式を消却することを決議しています。



## 継続した変革で、経営基盤を強化します。

JBグループの事業分野は、情報ソリューション、システム・ディストリビューション、ITサプライおよび製品開発製造の4分野からなり、10の事業会社でビジネス活動を行っています。グループの発展・成長を見据えて、以下のように継続的に変革を行っています。



この事業再編により、JBCCおよびNSISSは両社が各々得意とするお客様層への対応力を一層強化し、JBSはサービスの集中化により今まで以上に競争力のあるサービスを提供できる体制が整います。

今後も、継続的な変革によるグループ経営を推進し、経営基盤の強化を図ってまいります。

(注) 文中の会社略称の正式社名は以下の通りです。  
CIS: (株)シーアイエス JBCC: 日本ビジネスコンピューター(株)  
JBS: JBサービス(株) JBTS: (株)ジェイビーシーシー・テクニカル・サービス  
NSISS: NSISS(株) SOLNET: (株)ソルネット

## 株主通信 第45期 第3四半期報告書

JBCCホールディングス株式会社 (証券コード: 9889)



差出人 東京都大田区蒲田五丁目37-1  
ニッセイアロマスクエア15F  
JBCCホールディングス株式会社  
経営企画、広報・IR

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

※本通信は平成20年12月末時点での株主様にお送りしています。

OPEN 「トップメッセージ」はこちらから。

《ご注意》濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。

情報ソリューション分野の事業は、現状JBCC、NSISS、CIS、SOLNET、JBS、JBTSの6事業会社で活動しています。

昨今の急速な環境の変化に即応し、グループとして今以上に発展、成長するためには、一層踏み込んだ事業強化が必要であり、情報ソリューション分野のJBCC、NSISS、JBSについて、各社の特長を生かし、得意分野に特化した活動を行うべく、平成21年4月1日をもって3社間で事業再編を行うこととしました。

**ご登録下さい! IR/プレスリリース メール配信(無料)**

当社の業績など適時開示内容や当グループ内の最新情報をメールでご案内しています。

配信をご希望の方は、下記よりご登録ください。

登録サイト <http://www.jbcchd.co.jp/mail/>

決算などの財務情報に関するご質問は  
tel:03-5714-5172 e-mail:ir@web.jbcc.co.jp

※本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。